		専門学校	開講年度	令和05年度(	2023年度)	授業科目	17成7批5マラ	↑製図 I	
科目基础		(31 3 3 1/2	1/13213 1 /2	,   10 HOU 1 12 1		1228111	I WI WILL	1201-	
<u>                                     </u>	WE ITHE	20143			科目区分	専門 / 🖟			
受業形態		講義			単位の種別と単位				
			IN			<i>I</i> : Z			
親子科 150.#8		機械工学	件		対象学年		3		
親親		前期			週時間数	4			
教科書/教	<b>秋</b>	配布資料							
旦当教員		穴田 賢二	-						
到達目標	票								
2 .軸の強 3 .歯車の強 4 .適切にか 5 .軸にこかの 7 .各部品	度設計がで 強度設計がで 強事速度比かる曲げ、 選定ができ の配置を考	できる。 を決定できる ねじりモー> る。 えバランスカ							
レーブリ	ノック								
			理想的な到達し	レベルの目安	標準的な到達レイ	標準的な到達レベルの目安 未至			
]達目標			本項目の知識を	を理解し応用できる		* 10日の知識を理解し実践できる			<del></del>
頁目1~8					・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		<b>本</b> 垻日().	本項目の知識を理解していな	
学科の到	到達目標項	目との関	係						
			本科学習目標 4						
文育方》 数育方》		•							
思要		基本的な	機械要素の設計を	伝達する機器や構造 中心に行い,基礎学 てを自ら設計し, の総合演習と位置付	を力と専門的知識を!	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	———組むことを目 修得し, さら	―――― 目的とする。 6に機械製図の	——— 技術向上を
受業の進む	め方・方法	各種材料  逐次,計	算書,図面の提出	その強度, 規格等を調	<b>月べる努力を惜しま</b> た	ない。			
<b>-</b> <del>-</del> -		【評価方	法・評価基準】						
土息点		学年末の	図面の提出が必須 成績評価は, 計算	である。 連書40%, 図面60% 0点以上を合格とする	で評価する。 る。				
<sup>主意点</sup>  テスト		学年末の	図面の提出が必須 成績評価は, 計算	書40%, 図面60%	で評価する。 る。				
テスト	属性・履修	学年末の 成績の評	図面の提出が必須 成績評価は,計算 価基準として,5	書40%, 図面60%	で評価する。 る。				
テスト 受業の属		学年末の 成績の評 多上の区分	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5	書40%, 図面60%	3.		口 宇發	<b>収除</b> のおろ物	ヨに トス埒
Fスト 受業の属	属性・履修 ティブラーニ	学年末の 成績の評 多上の区分	図面の提出が必須 成績評価は,計算 価基準として,5	書40%, 図面60%	で評価する。 る。 ☑ 遠隔授業対応	<u> </u>	☑ 実務	経験のある教	員による授
Fスト 受業の原 ] アクラ	ティブラーニ	学年末の 成績の評 多上の区分	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5	書40%, 図面60%	3.	<u> </u>	☑ 実務	経験のある教!	員による授
Fスト 受業の原 I アクラ	ティブラーニ	学年末の成績の評別を上の区分	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,50mm	書40%, 図面60%	3。   ☑ 遠隔授業対応			経験のある教!	員による授
-スト 受業の原   アクラ	ティブラーニ	学年末の成績の評としている。	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5	書40%, 図面60%	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目	標		員による授
Fスト 受業の原 I アクラ	ティブラーニ	学年末の成績の評といる。	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,50mm	語40%,図面60% 0点以上を合格とする	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目 減速機の理解,	標仕様の確定が	ができる.	員による授
Fスト 受業の原 I アクラ	ティブラーニ	学年末の 成績の評 多上の区分 ニング 週 1週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5mm ICT 利用	i書40%,図面60% 0点以上を合格とする は様の確定	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目	標仕様の確定が	ができる.	員による授
-スト 受業の原   アクラ	ティブラーニ	学年末の 成績の評 多上の区分 こング 週 1週 2週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5mm □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 接業内容   減速機の理解, f	連集40%, 図面60% 0点以上を合格とする 上様の確定 動車の設計 (1)	る。   ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計,	標 仕様の確定が 歯車の設計が	ができる. ができる.	員による授
・スト (業の原 アクラ	画	学年末の 成績の評 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5mm □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 対 ICT 利用 □ ICT N □	連集40%, 図面60% 0点以上を合格とする は様の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2)	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計, 速度比の設計,	標 仕様の確定が 歯車の設計が 歯車の設計が	ができる. ができる.	員による授
・スト (業の原 アクラ	ティブラーニ	学年末の 成績の評 を上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5回回 ICT 利用	連集40%, 図面60% 0点以上を合格とする 世様の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計, 速度比の設計, 軸と軸受の設計	標 仕様の確定が 歯車の設計が 歯車の設計が	ができる. ができる.	員による授
・スト 受業の原 ・アクラ	画	学年末の 成績の評 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5回面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5回面基準とのでは、1CT利用型業内容減速機の理解,位速度比の設計,対速度比の設計,対域速度比の設計,対域を動きを動受の設計を動きを動きの設計を対している。	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 地様の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2)	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計, 速度比の設計, 軸と軸受の設計 軸と軸受の設計	標 仕様の確定が 歯車の設計が 歯車の設計が ができる。	ができる. ができる. ができる.	員による授
・スト 受業の原 ・アクラ	画	学年末の 成績の評 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	図面の提出が必須成績評価は、計算価基準として、5回回 ICT 利用	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 上様の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) (2)	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計, 速度比の設計, 軸と軸受の設計 軸と軸受の設計	標 仕様の確定が 歯車の設計が 歯車の設計が ができる. ができる. た設計ができ	ができる. ができる. ができる. ができる.	員による授
・スト (業の原 アクラ	画	学年末の 成績の評 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,5mm	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 連車の設計(1) 車の設計(2) (1) (2) (2) (数計(1) (2)	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計軸と軸受の設計	標 仕様の確定が 歯車の設計が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができ た設計ができ	ができる. ができる. ができる. きる。 きる。	員による投
-スト 受業の原 - アクラ 受業計画	画	学年末の 成績の評 多上の区分 ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,50回 ICT 利用	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 地様の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(1) (2)	る。	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 対方ンスがとれバランスがとれ	標 仕様の確定が 歯車の設計が ができる. ができる. た設計ができ た設計ができ た設計ができ	ができる. ができる. ができる. きる。 きる。	
-スト 受業の原 - アクラ 受業計画	画	学年末の 対域 学上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	図面の提出が必須成績評価は,計算価基準として,50mm   □ ICT 利用  授業内容 減速機の理解,在 速度比の設計,故 軸と軸受の設計,故 軸と軸受の設計 全体設計と総合核 全体設計と総合核	注 40%, 図面60% 0点以上を合格とする 位 車の設計(1) 位 車の設計(2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (3) (1)	る。  ☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計軸と軸受の設計 対ランスがとれバランスがとればランスがとれ	標 仕様の確定が 歯車の設計が ができる. ができる. た設計ができ た設計ができ た設計ができ た設計ができる.	ができる. ができる. ができる. きる。 きる。 きる。 こ進めることた	· できる.
・ マクラ アクラ 受業計画	画	学年末の 対域 を上の区分 ことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	図面の提出が必須成績事として、50個基準として、50個基準として、50個基準として、50個基準とのでは、100円のでは、	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 位本の確定 対象をでは、1) 対象をでは、1) 対象をでは、1) は、2) は、1) は、2) は、1) は、3) は、1) は、1)	☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がランスがとれ バランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計が ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 というできる。 たいできる。 たいできる。 たいできる。 というでもる。 というできる。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 というでも。 とのをも。 とのも。 とのも。 とのも。 とっと。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 との	ができる. ができる. ができる. きる。 きる。 きる。 こ進めることた	「できる. 「できる.
・ マクラ アクラ 受業計画	画	学年末の 学上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	図面の提出が必須成績評として,50個基準として,50個基準として,50個基準として,50個基準内容には、計算のでは、1CT利用型業内容は、1CT利用型業内の設計,は、1を支援を対して、1CT利用型業内の設計,は、1を支援を対した。1CT利用型業内容を対して、1CT利用型業の設計、2を対して、1CT利用型等の対象に対して、1CT利用型の設計、2を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	連載40%,図面60% 0点以上を合格とする 型車の設計(1) 型車の設計(2) (1) (2) 検討(1) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(1)	る。 □□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がランスがとれ バランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計が ができる. ができる. た設計ができる. た設計ができる. た設計ができた設計ができる. た設計ができる. とこででできる. たこのでできる. たいできる. たいできる. たいできる. たいできる. といいでき. といでも. といで. といで. といで. といで. といで. といで. といて. といて. といて. といて. といて. といて. といて. と. といて. といて	ができる. ができる. ができる. きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた	「できる. 「できる. 「できる.
・スト 受業の原 アクラ	画 1stQ	学年末の 学上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	図面の提出が必須成績事として、50個基準として、50個基準として、50個基準として、50個基準とのでは、100円のでは、	連載40%,図面60% 0点以上を合格とする 型車の設計(1) 型車の設計(2) (1) (2) 検討(1) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(1)	る。 □□ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がランスがとれ バランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計が ができる. ができる. た設計ができる. た設計ができる. た設計ができた設計ができる. た設計ができる. た設計ができる. とこででできる. たいできる. たいできる. たいできる. たいできる. というできる. というできる.	ができる. ができる. ができる. きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた	「できる. 「できる. 「できる.
・ マクラ アクラ 受業計画	画	学年末の 対域 を上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	図面の提出が必須成績評として,50個基準として,50個基準として,50個基準として,50個基準内容には、計算のでは、1CT利用型業内容は、1CT利用型業内の設計,は、1を支援を対して、1CT利用型業内の設計,は、1を支援を対した。1CT利用型業内容を対して、1CT利用型業の設計、2を対して、1CT利用型等の対象に対して、1CT利用型の設計、2を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	主様の確定 国事の設計(1) 国事の設計(2) (1) (2) (2) (3) (1) 図(2) 図(1) 図(2) 図(1)	る。 □☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がランスがとれ バランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 に設計ができる。 図を計画的(図を計画的)(図を計画の)(図を対理の)(図を)(図を)(図を)(図を)(図を)(図を)(図を)(図を)(図を)(図を	ができる. ができる. ができる. ができる. きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることた	ヾできる. ヾできる. ヾできる. ヾできる.
・ マクラ アクラ 受業計画	画 1stQ	学年末の区分 上の区分 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	図面の提出が必須成績評価は、計算の提出が必須 「原価基準として、50 「ICT 利用 授業内容 減速機の理解、位 速度比の設計、対 軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 全体設計と総合材 全体設計と総合材 全体設計と総合材 全体設計と総合材 全体設計と総合材 減速機の設計製図 減速機の設計製図 減速機の設計製図 減速機の設計製図	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5)	る。 □☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がランスがとれ バランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製 減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)(図を計画の)(図を計画の)(図を対理の)(図を可)(図を対理の)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可	ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることと こ進めることと こ進めることと	「できる. 「できる. 「できる. 「できる. 「できる.
・ マスト 受業の原 アクラ 受業計画	画 1stQ	学上の区分 シング 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	図面の提出が必須成績評価は、計算の提出は、計算価基準として、50回標ではは、計算価値をできます。 ICT 利用 授業内容 減速機の設計, 対	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5)	る。 □☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計軸と軸受の設計がられてランスがとれてランスがとれがランスがとれば更機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)(図を計画の)(図を計画の)(図を対理の)(図を可)(図を対理の)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可	ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることと こ進めることと こ進めることと	「できる. 「できる. 「できる. 「できる. 「できる.
・ マスト 受業の原 アクラ 受業計画	画 1stQ	学年末の区分 シング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	図面の提出が必須成績事として、55個人のではは、計算の提出は、計算のではない。 ICT 利用 授業内容 減速機の理解, 位速度比の設計, 対軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 全体設計と総合ををはいるでは、速機の設計と総合を全体設計と総合ををはいるでは、は速機の設計として、50個人の設計として、50個人の設計として、50個人の設計を表す。	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5)	る。 □☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計軸と軸受の設計がられてランスがとれてランスがとれがランスがとれば更機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)(図を計画の)(図を計画の)(図を対理の)(図を可)(図を対理の)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可)(図を可	ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることと こ進めることと こ進めることと	「できる. 「できる. 「できる. 「できる. 「できる.
- スト 受業の原 アクラ 受業計画 期	ライブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学に表の 学に表の 学に表の 学上の区分 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	図面前標として、50回面にはいます。	語書40%,図面60% 0点以上を合格とする 記載車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6)	る。 □☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計軸と軸受の設計がられてランスがとれてランスがとれがランスがとれば更機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)のでは 図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を対している。	ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることと こ進めることと こ進めることと	「できる. 「できる. 「できる. 「できる. 「できる.
- スト 受業の原 ] アクラ 受業計画 期	ライブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学年末の区分 上の区分 一次 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	図面の評価は、15回の提供は、15回の提供は、15回の評価はして、5回回には、15回回にはは、15回回にははは、15回回にはははは、15回回にははははははははははははははははははははははははははははははははははは	連集40%,図面60% 0点以上を合格とする 上様の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) 検討(1) 型(2) 型(1) 型(2) 型(3) 型(4) 型(5) 型(6)	る。 □☑ 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計軸と軸受の設計がられてランスがとれてランスがとれがランスがとれば更機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)のでは 図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を対している。	ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることと こ進めることと こ進めることと こ進めることと	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.
デスト 受業の原 ] アクラ 受業計画 加期	ライブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学に表の 学に表の 学に表の 学上の区分 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	図面前標として、50回面にはいます。	連書40%,図面60% の点以上を合格とする を動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(1) 図(2) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6)	3。 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計軸と軸受の設計がられてランスがとれてランスがとれがランスがとれば更機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)のでは 図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を対している。	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.
デスト 受業の原 ] アクラ 受業計画 加期	ライブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学年末の区分 上の区分 一次 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	図面の評価は、15回の提供は、15回の提供は、15回の評価はして、5回回には、15回回にはは、15回回にははは、15回回にはははは、15回回にははははははははははははははははははははははははははははははははははは	連書40%,図面60% の点以上を合格とする を動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6) 連目標 学習内容の到達目 図面の役割と種類	る。  ② 遠隔授業対応	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 耐力の設計がある。	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)のでは 図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を対している。	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることとた こ進めることとた こ進めることと こ進めることと  3 立世がることと 1 3 2 4	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.
デスト 受業の原 ] アクラ 受業計画 加期	ライブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学年末の区分 上の区分 一次 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	図面の評価は、15回の提供は、15回の提供は、15回の評価はして、5回回には、15回回にはは、15回回にははは、15回回にはははは、15回回にははははははははははははははははははははははははははははははははははは	連書40%,図面60% の点以上を合格とする を動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6) 連目標 学習内容の到達目 図面の役割と種類	3。 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 耐力の設計がある。	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)のでは 図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を対している。	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.
デスト 受業の原 ] アクラ 受業計画 期	srイブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学成績の 学成績 を上の区分 2週 3週 4週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 79 79 79 79 79 79 79 79 79 79	図面の評価は、15回の提供は、15回の提供は、15回の評価はして、5回回には、15回回にはは、15回回にははは、15回回にはははは、15回回にははははははははははははははははははははははははははははははははははは	連書40%,図面60% の点以上を合格とする を動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6) 連目標 学習内容の到達目 図面の役割と種類	る。   図 遠隔授業対応   図 遠隔授業対応   標を適用できる。   使うことができる。	週ごとの到達目減速機の理解,速度比の設計,速度比の設計,軸と軸受の設計 耐力の設計がある。	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)のでは 図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を対している。	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることとた こ進めることとた こ進めることと こ進めることと  3 立世がることと 1 3 2 4	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.
デスト 受業の原 受業アクラ 計画 が期	srイブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学成績の 学成績 を上の区分 2週 3週 4週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 79 79 79 79 79 79 79 79 79 79	図面領域として、5回の提供は、1 に 1 に 1 利用	議集40%,図面60% 0点以上を合格とする 起車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6) 達目標 学習内容の到達目 製図用具を正しく 線の種類と用途を	る。   図 遠隔授業対応   図 遠隔授業対応   標を適用できる。   使うことができる。	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計, 軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製 減速機の設計製 減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 を設計ができる。 図を計画的(図を計画的)のでは 図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を計画的(図を計画的)のでは、図を対している。	ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.
デスト 受業の原 受業アクラ 計画 が期	ョンフカリキ	学成績の 学成績 を上の区分 2週 3週 4週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 79 79 79 79 79 79 79 79 79 79	図面領域として、5回の提供は、1 に 1 に 1 利用	議集40%,図面60% の点以上を合格とする 上様の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6) 達目標 学習内容の到達目 図面の役割と種類 製図用具を正しく 線の種類と用途を 物体の投影図を正	る。    図 遠隔授業対応   図 遠隔授業対応   値標   を適用できる。   使うことができる。   説明できる。	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計, 軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製 減速機の設計製 減速機の設計製	標性様の確定が 歯車の設計が ができる. ができる. た設計ができる. た設計ができた設計ができた設計ができた設計ができた設計ができた。 図を計画的(図を計画的のを計画的のを計画的のを計画的の)	ができる. ができる. ができる. ができる。 きる。 きる。 きる。 こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ進めることた こ4 4 4 4	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.
デスト 受業の原 ] アクラ 受業計画 が期	srイブラーニ 画 1stQ 2ndQ	学成績の 学成績 を上の区分 2週 3週 4週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 79 79 79 79 79 79 79 79 79 79	図面領域として、5回の提供は、1 に 1 に 1 利用	議場40%,図面60% の点以上を合格とする は極の確定 動車の設計(1) 動車の設計(2) (1) (2) 検討(1) (2) 検討(3) 図(1) 図(2) 図(3) 図(4) 図(5) 図(6) 達目標 学習内容の到達目 製図用具を正しく 線の種類と用途を 物体の投影図を正 製作図の書き方を	る。    ② 遠隔授業対応   □ 遠隔授業対応   □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	週ごとの到達目 減速機の理解, 速度比の設計, 軸と軸受の設計 軸と軸受の設計 がらンスがとれ バランスがとれ バランスがとれ 減速機の設計製 減速機の設計製 減速機の設計製 減速機の設計製	標 仕様の確定が 歯車の設計ができる。 ができる。 た設計ができる。 た設計ができる。 と認力ができる。 と認力ができる。 と認力ができる。 と認力ができる。 と認力ができる。 と認力ができる。 と認力ができる。	ができる. ができる. ができる. ができる. きる。 きる。 ことかることとた こ進めることとた こ進めることとた こ進めることと これ は進めることと これ はないることと はないる はないる はないる はないる はないる はないる はないる はないる	ができる. ができる. ができる. ができる. ができる.

	機械設計	<b>力</b>	ボルト・ナット、軸継手、軸受、歯車などの機械要素の図面を作成できる。		4	
		当と	歯車減速装置、手巻きウインチ、渦巻きポンプ、ねじジャッキな どを題材に、その主要部の設計および製図ができる。		4	
		枵	標準規格の意義を説明できる。		4	
		枵	標準規格を機械設計に適用できる。		4	
		車	軸の強度、変形、危険速度を計算できる。		3	
		7	キーの強度を計算できる。		4	
		F ®	転がり軸受の構造、種類、寿命を説明できる。		4	
		9	すべり率、歯の切下げ、かみあい率を説明できる。		4	
		楊。	標準平歯車について、歯の曲げ強さおよび歯面強さを計算できる。		4	
			歯車列の速度伝達比を計算できる。		4	
評価割合			·		·	
		ポート	トフォリオ	合計		
総合評価割合		100		100		
基礎的能力		0		0		
専門的能力		100		100		
分野横断的能力		0		0		